

## 写真家テラウチマサトさんから 高校生の皆さんへのメッセージ

高校生のみなさん、こんにちは。写真家のテラウチマサトです。

今回企画しました「写真と言葉の“往復書簡”プロジェクト」について、少し私の思いを記します。

私は、今は県外に暮らしていますが、幼少の頃は富山市で過ごしました。当時の富山について街並みや食べ物の記憶も残っていますが、特に、家族や友人、近所の人など「人との関わり」がとても印象に残っています。

写真に限らず、何かを上達するためには、人との交流がとても大切です。特に立場や世代を超えた交流による「気づき」は、技術だけでなく、人としての成長にも繋がると思っています。この経験を一文でまとめるなら「**全ての成功は、出会うことからしか生まれない**」です。

今回のプロジェクトでは、高校生の皆さんと写真好きの社会人との「写真と言葉を通じた交流」を通じて、「いま」の特別さや「富山」の特別さを感じていただければと思い企画しました。

写真が上手くなるためのテクニックや考え方にも触れたいと思っていますので、ぜひ皆さんからの応募を待っています。

テラウチマサト



### （プロフィール）

モノやコトの“隠れた本質”を捉える着眼点や斬新な表現手法で、イベントプロデュースから、写真を媒介にした地域創生も手掛ける。

写真家としてのクリエイティビティを活かした幅広い創作活動を得意とする。

カルティエの撮影やパリユネスコでの富士山写真展、米国マサチューセッツ工科大学、コロンビア「FOTOGRAFICA BOGOTA 2015」に招聘されての講演、ポートレイトのオリンピックと言われる写真の世界大会 WPC (WorldPhotographicCup) 2017 年、日本代表等、海外からも高い評価を得ている。市民が写真を通じて日常の中の特別を見つけるプロジェクト「AMAZING TOYAMA 写真部」を主宰。富山市政策参与。日本写真家協会会員。